

## 世界ランク 1 位を 4 年連続でキープする英オックスフォード大学

### 伝統重視の一方で常に続く新たな挑戦

同大学の産学連携コンサルタント企業である Oxentia（オクセンティア）は、日本戦略を重視するビジネスモデルに舵を切った。日本人シニアコンサルタントを新たに迎え、日本企業への技術移転やアライアンスの強化、日本発のベンチャー企業のグローバル化、女性起業家の支援といった新たなビジネス創出に向けてサポートを強化している。

伝統と格式が重視されるイメージが先行する英オックスフォード大学は、その反面で常に革新的な取り組みを行う大学としても良く知られている。「産学連携」という概念を 30 年以上前に提唱したのも同大学で、現在は多くのスピンアウト企業を産み出している。THE – Times Higher Education において常に上位 (World University Rankings 2020 においても世界 1 位<sup>1)</sup>) を獲得し、大学としての総合力、国際力、魅力は申し分ない。オックスフォード大学の最大の魅力は多様性の受け入れであるとも言われ、人種や宗教を超えた理解の下、新たなアイデア・ビジネスモデル等が産み出される土壌が存在してきた。

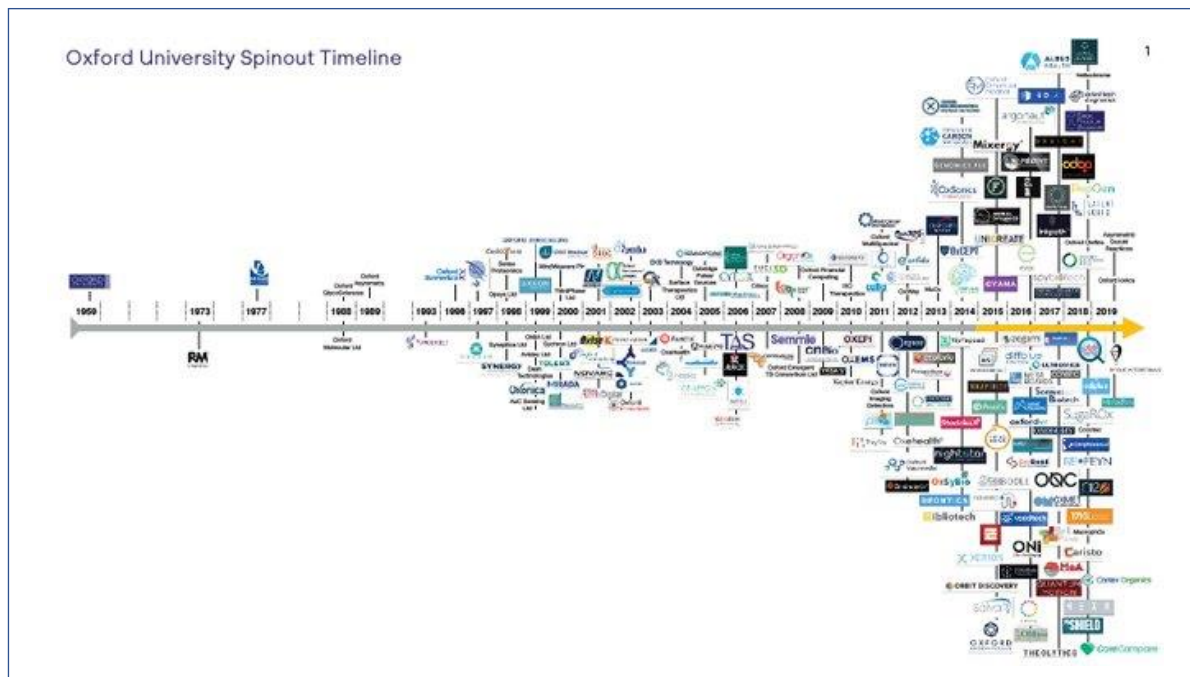


1. University of Oxford (UK)
2. California Institute of Technology (USA)
3. University of Cambridge (UK)
4. Stanford University (USA)
5. Massachusetts Institute of Technology (USA)
6. Princeton University (USA)
7. Harvard University (USA)
8. University of Chicago (USA)
9. Imperial College London (UK)
10. University of Pennsylvania (USA)

World University Rankings 2020

同大学は、早期に産学連携やライセンスアウトを担う専任の部署をコンサルタント企業として独立させ、基礎研究や論文発表を重視する大学研究者とは独立した組織運営化の下でスピンアウト企業の育成や、初期の資本参加

等を行ってきた。下図は、大学 100%子会社として技術移転を運営する Oxford University Innovation 社が発表した過去 30 年の「公認」スピナウト企業を抽出したチャートで、企業数の増加が自明であることはもちろん、Oxford Nanopore 社や、Immunocore 社等のユニコーン企業も多く誕生している<sup>2)</sup>。



オックスフォード大学からのスピナウト企業チャート

### Oxentia の独立

オックスフォード大学におけるテクノロジートランスファー機能として、Oxford University Innovation<sup>3)</sup> (OUI) 社と Oxentia 社の 2 種類が存在し、双方の利点を活かしながらの協業が多く進められている。OUI は、大学 100%子会社としての性質上、基本的にオックスフォード大学発の研究知財をベースとした起業支援やライセンスアウト等を専門としている。一方、独立組織として運営されている Oxentia は、オックスフォード大学や英国に限らず、世界中から技術情報やライセンス情報を集約し、これを再び世界に発信するビジネスを行っている。Oxentia のビジネス形態は非常にグローバルで、世界 17 拠点に人員を配置し既に世界 65 개국以上との連携を行っている。Oxentia はライセンス情報の早期提供に加え、各国におけるスタートアップ企業へのトレーニングや、グローバル化を目指す企業と投資家とのマッチング等を手掛けている。特に、英国政府が運営する Newton プログラムなどの途上国中心の起業家支援プログラムにおいては、メインメンターとして事業を多く請け負い、トレーニングを実施する能力に定評を得ている。

### 日本企業・ベンチャーとの連携強化

2019 年より Oxentia は日本企業およびベンチャー企業との連携強化に向けたビジネス戦略を明確に打ち出し、同年 11 月に日本人シニアコンサルタントとして松永昌之（Biospire 株式会社代表取締役兼）を迎えた<sup>4)</sup>。

現在の日本経済は概ね良好な状態にあり、多くの企業が新事業創出等の取り組みを行っているが、一方で未だ課題も多い。グローバル化ビジネスでの意思決定を中心としたスピード感、外部アライアンスを巻き込んだパー

トナーシップ、資本提携や買収などを考慮したグローバルビジネスパートナーの策定、評価、交渉などは改善が要される課題である。また、非常に高い技術とグローバルに通用するビジネス戦略や知的財産を備えた日本発のベンチャー企業がここ数年で多く誕生し、これをサポートするベンチャーキャピタル等の環境が整って来ている中で、ビジネスのグローバル化戦略については引き続き外部サポートを必要とする実感が否めない。

Oxentia では、これらのニーズに対応するため、自らが起業を経験したメンバーや、グローバルコンサルタント企業において事業評価を行った経験を有するメンバーがチームを編成し、日本企業およびベンチャー企業のニーズに応えられる体制を整えている。

既に、複数の大手企業（製薬、化学、エネルギー、環境、自動車等）に対し、欧州からの早期事業の発掘調査や事業評価、クライアント企業が有する既存特許の他事業領域への「再活性化」プログラム、社内ベンチャー制度をサポートするための事業選定とグローバルビジネス人材育成プログラム等を立ち上げている。また、日系ライフサイエンススタートアップ企業に対するビジネスのグローバル化サポートの一環として、「London Demo Day」と称したピッチプログラムをロンドンにて開催し、現地投資家へのプレゼンテーション機会を提供すると同時に、世界中の投資家に向けてライブ発信を実施した。



2019年11月21日 ロンドンで開催された London Demo Day の様子

2020年以降、Oxentia は更に日本におけるプレゼンスを高め、より多くのグローバルビジネスデベロップメントや、ビジネスアクセラレーションをサポートする取り組みを推し進めて行く。特に企業やスタートアップ企業との直接的な設定強化、日本のビジネスエコシステムや大学とのより深い関係育成、日英両政府とのアライアンスの緊密化を重視していく予定だ。

オックスフォードという世界的なイノベーション拠点で培われたビジネス育成の経験と、日本の優れた基礎技術を融合させた新たなビジネスが産まれていく機会が今後出てくるであろう。

1. [https://www.timeshighereducation.com/world-university-rankings/2020/world-ranking#!page/0/length/25/sort by/rank/sort\\_order/asc/cols/stats](https://www.timeshighereducation.com/world-university-rankings/2020/world-ranking#!page/0/length/25/sort%20by/rank/sort_order/asc/cols/stats)
2. <https://twitter.com/OxUInnovation/status/1183758889503903744>
3. <https://innovation.ox.ac.uk/>
4. <https://www.oxentia.com/team/>